

京都市交響楽団
第685回
定期演奏会

新常任指揮者 沖澤のどかの
シーズン・ファイナル公演!
オール・フレンチプログラムで飾ります!

フライデー・ナイト・スペシャルは
いつもと違う!

～気軽にオーケストラ・サウンドが楽しめる、
それが「フライデー・ナイト・スペシャル」!～

- ★ 夜7:30開演なので、仕事帰りにも行きやすい!
- ★ 休憩なし、約1時間のプログラムで早く終演!
- ★ 土曜日公演とは違う親しみやすい曲のセレクトで、
◎・🎵2日間とも楽しめる!
- ★ リーズナブルな料金設定で来場しやすい!

開演前
(1/19金公演=午後7時ころから/
1/20土公演=午後2時ころから)

は指揮者による
「プレトーク」で
お楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上
にて開催します。

フライデー・ナイト・スペシャル

2024 1/19金 1/20土
午後7時30分開演 午後2時30分開演
(午後6時30分開場) (午後1時30分開場)

京都コンサートホール

京都市営地下鉄丸太線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

Fri, January 19, 2024 / 7:30PM Sat, January 20, 2024 / 2:30PM
Kyoto Concert Hall

助成：公益財団法人アフィニス文化財団



助成：



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会

京都市交響楽団

The 685th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra



指揮：沖澤 のどか

(常任指揮者) ©京都市交響楽団

Conductor: Nodoka Okisawa
(Chief Conductor)

ハープ：吉野 直子*

Harp: Naoko Yoshino* ©Akira Muto



1/19金公演 **フライデー・ナイト・スペシャル** 休憩なし・約1時間プログラム

Fri, January 19 <Friday Night Special> about 1 hour with no intermission

ドビュッシー：ハープと弦楽のための舞曲

「神聖な舞曲と世俗的な舞曲」*

オネゲル：交響曲 第5番「三つのレ」

イベール：寄港地

Debussy: Danse sacrée et danse profane, danses pour harpe chromatique
et orchestre d'instruments à cordes*
Honegger: Symphony No.5 "Di tre re"
Ibert: Escales, sym. pieces

1/20土公演 Sat, January 20

オネゲル：交響曲 第5番「三つのレ」

タイユフェール：ハープと管弦楽のための小協奏曲*

イベール：寄港地 ラヴェル：ボレロ

Honegger: Symphony No.5 "Di tre re"
Tailleferre: Concertino pour harpe et orchestre*
Ibert: Escales, sym. pieces Ravel: Boléro



入場料 2023.11/25🎵から発売

1/19🎵公演 **フライデー・ナイト・スペシャル**
🎵4,000円 🎵3,500円 🎵3,000円 🎵2,000円 🎵1,500円 (舞台後方席)

1/20🎵公演
🎵5,500円 🎵5,000円 🎵4,000円 🎵3,000円 🎵2,000円 (舞台後方席)

「U22」(当日残席がある場合のみ発売)

1/19🎵公演 **フライデー・ナイト・スペシャル** 🎵1,500円 🎵1,000円 🎵500円 🎵500円

1/20🎵公演 🎵2,000円 🎵1,500円 🎵1,000円 🎵1,000円

※ 22歳以下のお客様が対象です。開演1時間前から発売(当日券売場にてお買い求めください)。
電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座席指定はできません。
ご購入及びご入場の際には年齢の確認できる証明書をご提示ください。

チケット
ご予約

- 京都コンサートホール (075) 711-3231
- ロームシアター京都 (075) 746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード227-676
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード54203

お問い
合わせ

京都市交響楽団 (075) 222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/> →
京都コンサートホール (075) 711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>
◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



- ◆ 1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2024年1月12日までに京響075-222-0347へお申し込みください)
- ◆ 10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-222-0347)までお問い合わせください。
- ◆ 障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。



主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団



協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



オ

ネゲルの交響曲第5番「三つのレ」は1947年にクーセヴィツキー財団からの委嘱で作曲され、シャルル・ミュンシュ指揮ボストン交響楽団によって初演されました。三つの楽章すべてが「レ」音で終わることから付けられた表題だそうです。特に第2楽章は「日頃あまり使わないある種の十二音階」を用いて作曲されたと本人談が残っています。さてどのような響きなのでしょう。日本を代表する世界的ハープ奏者の吉野直子をソリストに迎えてお聴きいただくのは、ドビュッシーの「神聖な舞曲と世俗的な舞曲」(1/19公演)及びタイユフェールの「ハープと管弦楽のための小協奏曲」(1/20公演)です。ジェルメヌ・タイユフェールはフランス6人組の紅一点。パリ音楽院時代からオネゲルやミヨーといった作曲家達と親交を持っていたようです。作風は素晴らしく鮮明な音で構成されています。イベールの「寄港地」は、タイトル通りイベールが第一次世界大戦中に海軍士官で地中海を航行した時に寄港した異国の印象を取り入れた作品で、彼の出世作となりました。そして最後はラヴェルの「ボレロ」で、新任指揮者就任初年度の沖澤のどかが指揮する全3回の定期演奏会を締めくくります！



The 685th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

指揮 **沖澤 のどか**(常任指揮者)

Conductor: Nodoka Okisawa (Chief Conductor)

2019年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝、併せてオーケストラ賞及び聴衆賞を受賞。2018年には東京国際音楽コンクール(指揮)でも優勝(及び特別賞、齋藤秀雄賞を受賞)。2023年3月、第21回齋藤秀雄メモリアル基金賞 指揮部門受賞。2020年から2022年までベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミー奨学生、及びキリル・ペトレンコ氏のアシスタント。2022年3月、連邦大統領主催のベルリン・フィルのウクライナのための連帯コンサートを指揮。2022年5月ペトレンコ氏とともにカラヤン・アカデミー50周年記念公演に出演。2023/24シーズンは、パーゼル室内管、ウィニペグ響、ケベック響、BBCウェールズ・ナショナル管等へのデビュー、N響の定期公演デビュー、東響及び2022/23シーズンにアーティスト・イン・レジデンスを務めたミュンヘン響へ再登場するほか、読響、新日本フィル、日本フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢等に定期的に客演。セイジ・オザワ松本フェスティバル2022でモーツァルトの歌劇『フィガロの結婚』を指揮してサイトウ・キネン・オーケストラへデビュー。N.ヤルヴィ、P.ヤルヴィ、K.マズア各氏など数多くのマスタークラスを受講。2019年のリッカルド・ムーティ「イタリア・オペラ・アカデミー in 東京」指揮受講生。オーケストラ・アンサンブル金沢の指揮研究員として、また、日本とヨーロッパにおけるオペラ・プロダクションでも経験を積んだ。2020年11月東京二期会オペラ劇場公演 レハール作曲『メリー・ウイダー』を指揮。青森県生まれ。幼少期からピアノ、チェロ、オーボエを学ぶ。東京藝術大学で指揮を高関健、尾高忠明両氏に師事して修士号を取得。2019年には、ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンでクリスティアン・エーヴァルトとハンス・ディーター・パウム両氏のもと第二の修士号を取得。ベルリン在住。2023年4月から京都市交響楽団第14代常任指揮者に就任。



©Felix Broede

ハープ **吉野 直子**

Harp: Naoko Yoshino

ロンドン生まれ。6歳よりロサンゼルスにて、スーザン・マクドナルド女史のもとでハープを学ぶ。1981年第1回ローマ国際ハープ・コンクール第2位入賞。1985年第9回イスラエル国際ハープ・コンクールに参加者中最年少の17歳で優勝。これまでに、ベルリン・フィル、イスラエル・フィル、チュリヒ・トーンハレ管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、フィルハーモニア管、フィラデルフィア管、ウィーン・コンツェントゥス・ムジクスなどのオーケストラや、アーノンクール、メータ、ブレーズ、プロムシュテット、メニューイン、ブルゴス、小澤征爾など国内外の著名オーケストラや指揮者と共演を重ねている。リサイタルもニューヨーク、ウィーン、ロンドン、東京など世界各地で開催、また、ザルツブルク、ルツェルン、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン、マールポロ、セイジ・オザワ松本フェスティバルなど、世界の主要音楽祭にも度々招かれ、常に好評を博している。室内楽の交流も幅広く、ヴァイオリンのクレームル、ヴィオラのV.ハーゲン、今井信子、チェロのC.ハーゲン、フルートのニコレ、ランバル、シュルツ、パユ、ホルンのパボラークなどと共演を重ねてきた。また、ハープの新作にも意欲的に取り組み、武満徹「そして、それが風であることを知った」、細川俊夫「ハープ協奏曲」、高橋悠治「Insomnia」、マヤーニ「ソナタ第2番」など初演した作品は数多い。レコーディング活動も活発で各レーベルで多数録音するほか自主レーベルのグラツィオーソ(grazioso)を創設し録音プロジェクトを開始。最新盤は「ハープ・リサイタル～Intermezzo～」。1985年アリオン賞、1987年村松賞、1988年芸術祭賞、1989年モービル音楽奨励賞、1991年文化庁芸術選奨文部大臣新人賞、エイボン女性芸術賞、2021年度毎日芸術賞特別賞をそれぞれ受賞している。国際基督教大学卒業。



©Akira Muto

京都市交響楽団

City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年、第12代常任指揮者の広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞、同年6月、広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収めた。平成28年度地域文化功労者表彰、2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞等を受賞。2020年4月、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一(2022年3月まで)、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッド(2023年3月まで)が就任。2008年4月から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月から第14代常任指揮者に沖澤のどかが就任、さらに2024年4月からは首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリースが就任予定。京響は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



©井上亨真事務所 井上嘉和

次回予告



2023.12/27[※]から発売!

第**686**回
定期演奏会

©Yoshinori Kurosawa

©Hikaru☆

川瀬賢太郎の新世界、そして

石田泰尚ソロでウイントン・マルサリスのヴァイオリン協奏曲

日時 **2024年2月17日** 午後**2時30分**開演 会場 **京都コンサートホール**
指揮 **川瀬賢太郎** 独奏 **石田泰尚**(ヴァイオリン/京響特別客演コンサートマスター)
曲目 **マルサリス:ヴァイオリン協奏曲 二調**
ドヴォルザーク:交響曲 第9番 ホ短調 作品95「新世界から」
入場料: **S 5,500円 A 5,000円 B 4,000円 C 3,000円 P 2,000円**(舞台後方席)